

飯豊：杵差岳

山行日：2016. 7. 18～7/21 参加者：ta. su. fu 天候：曇り時々晴れ 記：th

コースタイム：18日 東京/23:05－19日 米沢/4:30－飯豊山荘/8:20－門内小屋/17:00

20日 6:25－地神山/7:25－大石山/9:40－鉾立峰/10:55－杵差小屋
/11:55 21日 5:05－大石山/6:30－滝見場/8:40－奥胎内ヒュッテ/11:20



3列シートの夜行バス、米沢経由、飯豊山荘からいざスタート

登山道入り口からはいきなりの急登が始まる
梶川尾根は森林限界まではこんな調子の道がつづく

今年は本当に残雪が少ない、稜線はまだガスの中





緩い尾根となるが縦走路は大分さき



ガスに煙った稜線を門内小屋へ
小屋のトタン屋根が暴風雨でめくれて
しまい雨漏れがしているとのことで
室内がやけにじめじめしていた。
昨夜雨は降っていなかったが1階に
寝ていた時に水滴が落ちてきた。
新潟県管轄の門内小屋と頼母木小屋は最古
のため修繕をしながらやりくりし
ていると
のことだった。トイレはバイオ式に
改修され快適だった。翌朝はガスの中
を杵差岳へ向かう





草原の中にある頼母木小屋、水は高低差を使って引いており贅沢なほど流れていた



大石山と杵差小屋間にある鉾立山が聳え立っている



今が盛りのお花畑





辿り着いた杣差避難小屋
バックに杣差岳



夕方、姿を見せた
北股岳から杣差への
稜線

やがて左奥に
飯豊本山が見えて
きた

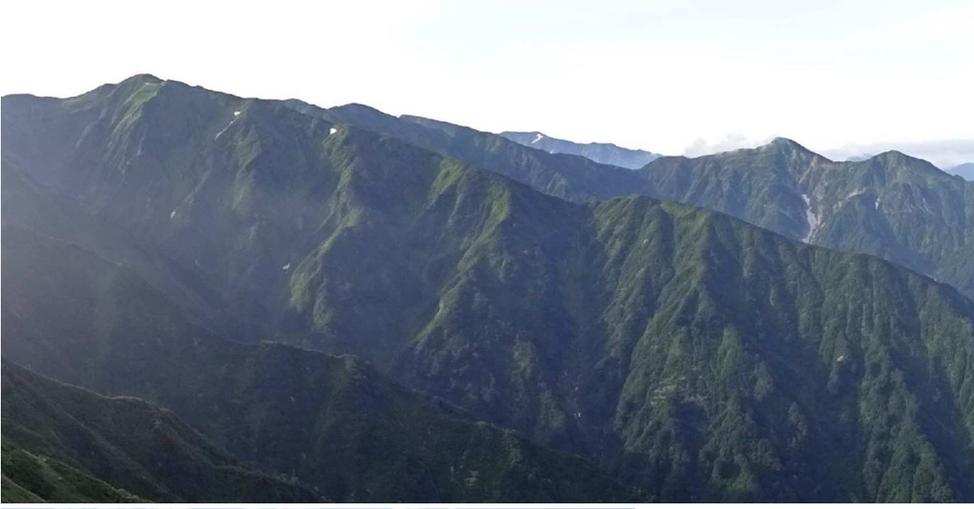


翌朝も快晴



鉾立峰を乗り越えて、大石山から足の松尾根を奥胎内ヒュッテへ向かう途中最後の雄姿、杵差避難小屋を見る





この尾根は降りる方が厳しい



奥胎内ヒュッテに無事下山

